

## 令和4年度 FD 実施計画書・報告書

令和5年4月現在

I 学部学科・研究科名

流通科学部 流通科学科

## II-1 実施計画①【概要】

## II-2 実施報告①【概要】（年度末記入）

取組N°	A FDセンター重点項目	FD2021 取組項目	A FDセンター重点項目 達成内容
1	DP 達成度評価の現状と課題抽出・計画策定 ・DP ルーブリックの策定（R4.10月策定, R5.4月開始） ・DP ルーブリックに関するアセスメントプランの検討（R5年度末まで）	I-1- (1)	DP ルーブリックの策定と DP ルーブリックに関するアセスメントプランの検討については、新カリキュラムの検討と合わせる形で、今後進めていく予定である。
2	授業ルーブリック・課題ルーブリックの推進 ・各学科におけるルーブリック導入率（授業ルーブリック・課題ルーブリック）の向上 ・ルーブリック共通フォーマットを授業担当者へ周知（RR 全学共通フォーマットの改善・検討）	I-2- (1)	流通科学科におけるルーブリック導入率は、授業ルーブリック 44%、課題ルーブリック 24%であった。授業ルーブリック導入率は目標の 40%を超えており、非常に優れた成果を得ている。令和5年度も引き続き、学科として導入率の向上を目指す。
3	Society 5.0 の到来に備えた DP/CP の見直し ・数理・データサイエンス・AI に関連する科目等のカリキュラム化	I-1- (4)	令和4年度には、「データサイエンス入門」を主とする数理・データサイエンス・AI に関連する科目等を担当する教員が着任し、授業を実施している。DP/CP の見直しは、2025年度の新カリキュラム運用に向け、引き続き行う予定である。
4	「成績評価ガイドライン(仮)」のポリシー策定 ・「成績評価ガイドライン」に基づく各学科・研究科の実施要領の策定（R4.9月末まで, R5.4月開始） ※専任教員運用開始：随時, 非常勤講師委嘱時に周知：R4.10~11月	I-2- (2)	FDセンター提供の「成績評価ガイドライン」を共有するとともに、同ガイドラインに準じて成績評価を行うことを確認した。学科・研究科の実施要領の策定については、現在、進行中である。
5	各学科・研究科内 FD 研修会と情報共有の場の推進	I-2- (3)	学科では、メール会議で学生生活実態調査結果に係る考察・改善・成果の検討を行うなど（11月10日流通科学科FD）、また、研究科では、①DPルーブリック②修士論文審査基準・修士論文審査ルーブリック③アセスメントポリシーの検討を行うなど（10月27日流通科学研究科FD）、FD研修会を計画どおりに開催してきており、情報共有の場を推進させている。

取組No.	B その他取り組み項目	B その他取り組み項目 達成内容
6	学生の学習環境向上への取組 ・ 学生満足度指標と評価方法の提示	令和4年度も「流通科学部 学部満足度調査（アンケート）」を実施している（卒業生は3月18日）。学部独自の評価基準・指標を一定程度導出できており、今後は学修環境・授業改善やDPへの反映も検討する。
7	アクティブラーニング等の推進 ・ after コロナにおけるアクティブラーニングのあり方の検討，先行事例の提示（R4.9月）	アクティブラーニング等を積極的に推進している。令和4年度も、学科の各教員から充実した内容が盛り込まれたアクティブラーニング実施概要が提出されている。after コロナにおけるアクティブラーニングのあり方の検討や先行事例の提示については、今後、進めていく予定である。

Ⅲ-1 実施計画②【詳細(実施事項・内容、実施組織、評価項目等)】

Ⅲ-2 実施報告②【詳細(実施事項・内容、実施組織、評価項目等)】 (年度末記入)

取組 No.	予定時期	内容	実施日	達成内容(未達の場合は理由を記載)
2 5	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度学部FD実施計画の確認(FD2021とあわせて)</li> <li>・授業ルーブリック, 課題ルーブリックの推進</li> <li>ルーブリック共通フォーマットの周知</li> <li>・新任教員メンター確認</li> </ul>	4/7(木)	2021年度FD実施報告と2022年度FD実施計画を確認した。授業ルーブリックについては、導入率は44%であり、非常に優れた成果を得ている。また、新任教員のメンターを確認した。
1 3	5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DP達成度評価の現状と課題抽出・計画策定</li> <li>DPルーブリック素案の策定と確認・検討</li> <li>・Society 5.0の到来に備えたDP/CPの見直し</li> <li>数理・データサイエンス・AIに関連する科目等のカリキュラム化の検討</li> </ul>	8~9月	9月14日(水)に開催された教育ワークショップの準備や実施を通じて、左記の実施計画内容は検討されている。
4	6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「成績評価ガイドライン(仮)」のポリシー策定</li> <li>成績評価ガイドラインに基づく学部ポリシーの検討</li> </ul>	未実施	新カリキュラムの検討とともに進めていく予定であり、十分な策定・検討には至っていない。
1 3	8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DP達成度評価の現状と課題抽出・計画策定</li> <li>DPルーブリック素案の策定と確認・検討</li> <li>・Society 5.0の到来に備えたDP/CPの見直し</li> <li>数理・データサイエンス・AIに関連する科目等のカリキュラム化の検討</li> </ul>	8~9月	9月14日(水)に開催された教育ワークショップの準備や実施を通じて、左記の実施計画内容は検討されている。
4	9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「成績評価ガイドライン(仮)」のポリシー策定</li> <li>成績評価ガイドラインに基づく学部ポリシーの検討</li> </ul>	未実施	新カリキュラムの検討とともに進めていく予定である。
6	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>アクティブラーニング等の推進</li> <li>after コロナにおけるアクティブラーニングの事例共有, あり方検討</li> </ul>	令和4年度	特に、複数ゼミによる「食の流通」に係るアクティブラーニングを積極的に推進した。
7	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の学習環境向上への取組</li> <li>(学生満足度指標と評価方法の策定)</li> </ul>	12月以降	在学生については、流通科学部 学部満足度調査(アンケート)を実施している(卒業生は3月18日)。指標や評価方法についても一定程度導出している。
1 ~ 7	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度の総括と次年度計画の策定</li> <li>FD実施報告書(今年度)・FD実施計画書(次年度)の検討</li> </ul>	3/29(水)	今年度のFD実施報告書の内容を確認し、次年度のFD実施計画書の内容を検討した。